

はつらつ！ 就学・通学応援金の申請を受け付けています

長瀬町では、高校生の就学・通学を応援するため、「はつらつ！ 就学・通学応援金」を支給します。

5月2日に各世帯へ案内文を送付いたしました。申請期限がありますので、ご注意ください。

申請期限：6月28日(金)

問合せ 教育委員会 教育総務担当 ☎66・3111 内線305

英検・数検・漢検の検定料を助成します

町では、町内に住む小中学生が英検（実用英語技能検定）・数検（実用数学技能検定）・漢検（日本漢字能力検定）を受検した際に、検定料の一部を助成しています。

対象者 令和6年度に英検・数検・漢検を受検した小中学生の保護者（合否不問）

助成額 受検者1人につき、各検定1,000円

※全ての検定を受検すると1年度で計3,000円の助成となります。

※予算がなくなり次第、その年度の助成は終了します。

申請方法 検定受検後に、①申請書兼実績報告書、②助成金交付請求書、③受検したことを証明するもの（合否の写し又は受検票等）をあわせて、教育委員会窓口（役場3階）に提出してください。

※書類は町ホームページからダウンロードできます（検定受検料助成金交付制度）。

申請期限 令和7年2月28日(金)

問合せ 教育委員会 教育総務担当 ☎66・3111 内線306

17

町長コラム

「尊重し合えるジェンダーフリー社会に」



令和6年度埼玉県部長級職員のうち女性が7人になったとのこと。副部長級と併せて何人かはわかりませんが、全職員男女比率からすると女性幹部はまだまだ少ないと感じます。長瀬町では現在、女性職員33名のうち課長2名主幹3名の5名の女性管理職が居ます。今後も増加が期待されているところです。先日ある冊子で「奥原晴湖」の名前を目にしました。明治の南画界を代表する女流画家で、亡くなるまでの22年間を熊谷市で過ごし、市内の龍淵寺に墓があります。私の義妹がこの寺の墓地に眠っており、初めてこの墓を見つけたときはびっくりしました。西の鉄斎、東の晴湖と以前から名前だけは知っていましたが、作品に出会ったこともなく今日まで来ました。図らずもこの冊子で初めての出会いをさせていただき、感極まった次第です。江戸末期に生まれた晴湖は断髪令が発令されると断髪にし男性の着物を着用、言葉遣いも男性になり生涯そのスタイルを貫いたとのこと。なぜ男性として生きようとしたのかはナゾのようですが、厳しい男社会の画壇で生きるのには女を捨てざるを得なかったのかなと思います。女性活躍推進法が施行され、女性活躍環境も整いつつあります。しかしなかなか女性が表舞台に出てこない。ある講演会での板東真理子昭和女子大総長の話「女性はリスクを取らない。女性だからという思い込みも強い。」ジェンダーバランスの良い社会を創るのに必要なのは、女性の意識改革なのかもしれません。男だから女だからではなく、お互いを尊重し合える社会であってほしいと願っています。

感謝

「自分のつくすべき事をつくして

それから先の運命は天命にまかせよ」

渋沢栄一『訓言集』より